

## 奈良県十津川村 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

## (1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年	2022年	2023年	2030年（目標値）	達成度 （%）
1	起業支援者数【8,8.2】	2019年 4件	2021年 6件	2022年 6件		2030年 24件	10%
2	若者転入者数【11,11.3】	2019年 47名	2021年 49名	2022年 62名		2030年 77名	50%
3	林道の新規開設【13,13.1】	2020年 801m	2021年 1043m	2022年 1148m		2024年 1,550m	46%

## (2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況（2021年～2023年）

No	取組名	指標名	当初値	2021年 実績	2022年 実績	2023年 実績	2023年 目標値	達成度 （%）
1	林業と観光業の総合的な事業運営による産業創出	起業支援数	2019年 4件	2021年 6件	2022年 6件		2030年 24件	10%
2	林業のブランディングによる差別化	「郷土の家」取扱い工務店数	2020年 6店	2021年 6店	2022年 6店		2024年 8店	0%
3	流通管理による最適な木材供給	十津川材を活用した年間建築工事件数	2018年 49件	2021年 45件	2022年 47件		2024年 70件	-10%
4	インバウンド旅行者の拡大	インバウンド旅行者数	2019年 1,329名	2021年 8名	2022年 14名		2023年 2,000名	-196%
5	新たな産業創出による若者移住促進	若者転入者数	2019年 47名	2021年 49名	2022年 62名		2023年 77名	50%
6-1	林業6次産業化の推進による従事者の確保（一次産業）	従業者数	2018年 85名	2021年 80名	2022年 73名		2024年 110名	-48%
6-2	林業6次産業化の推進による従事者の確保（一次産業以外）	従業者数	2018年 22名	2021年 19名	2022年 19名		2024年 40名	-17%
7	実践的な人材育成システム構築	フォレスター数	2020年 0名	2021年 0名	2022年 0名		2023年 2名	0%
8	民泊による空き家／廃校施設の有効活用	空き家バンク成約件数	2019年 9件	2021年 9件	2022年 10件		2024年 22件	8%
9	森林保全による防災機能強化	林道の新規開設	2020年 801m	2021年 1,043m	2022年 1,148m		2024年 1,550m	46%
10	景観の改善による観光人口拡大	観光客入込客数	2019年 730,638名	2021年 454,470名	2022年 599,695名		2024年 825,000名	-139%

## 奈良県十津川村 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

No	取組名	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度(%)
11	生物多様性の維持・確保	シンボル種の選定と保全手法の開発	2019年 0種	2021年 0種	2022年 10種		2021年 5種	200%
12	流通一元管理によるリサイクルの促進	村内木材利用率	2019年 0.48トン	2021年 3.4トン	2022年 0.56トン		2023年 2.25トン	5%

## (3) SDGs未来都市計画推進のKPI達成に係る評価及び課題等

観光分野では新型コロナウイルスの感染拡大により、いまだに影響を受けており、自治体SDGsの推進に資する取組の中の観光人口やインバウンド旅行者の拡大については、目標から大きく達成できていない。しかし、中長期滞在できるワーケーション施設兼移住体験住宅を整備したので、一過性の観光客の増加を目的だけでない、No.5若者転入者数の増加が期待できる。今後は、No.4インバウンド旅行者数の回復が見込まれるため、受入環境の強化を進めている。また、地元の十津川高校生と観光を切り口とした持続可能な地域づくりをテーマにシンポジウムを開催するなど、次世代からの機運醸成を図った。

林業分野においては、施業に関するガイドラインの運用を開始し、従業者の安全と環境の保全に配慮したNo.9林道の新規開設を進めている。

また、環境面での取り組みにおいては、木質バイオマス燃料の活用に関する検討のほか、ゼロカーボン温泉地に向けた温泉熱の有効活用の検討のためアドバイザーの支援を受けた。